

令和 8 年度 道路施設等維持管理業務委託

委託仕様書

塩竈市産業建設部土木課

令和 8 年 2 月

道路維持 標準

1 総 則

1-1 適 用

- 1 本章は、「令和8年度 道路施設等維持管理業務委託」について適用するものとする。
- 2 本章に定めのない事項については、「宮城県土木工事共通仕様書 第8編 道路編 第1章～第16章」の規定によるものとする。
- 3 業務の履行に当たっては、仕様書に基づき実施するものとし、記載されていない事項については、宮城県土木部監修「宮城県土木工事共通仕様書」に基づき実施するものとする。

1-2 用語の定義

- 1 「監督職員」とは、受託者に対し、必要な指示、協議、立会等を行う者で、主任監督員及び監督員を総称している。また、関連業務に関する連絡及び調整も行う。
- 2 「契約図書」とは、契約書及び設計図書をいう。
- 3 「設計図書」とは、標準仕様書、特記仕様書、図面、現場説明書及び現場説明に対する質疑応答書をいう。
- 4 「特記仕様書」とは、標準仕様書を補足し、業務の履行に関する明細又は業務に固有の要求を定める図書をいう。なお、設計図書に基づき監督職員が受託者に指示した書面及び受託者が提出し監督職員が承諾した書面は、特記仕様書に含まれる。
- 5 「現場説明書」とは、業務の入札に参加するものに対して、委託者が当該業務の契約条件等を説明するための書類をいう。
- 6 「質疑応答書」とは、現場説明書及び現場説明に関する入札参加者からの質問に対して委託者が回答する書面をいう。
- 7 「指示」とは、監督職員が受託者に対し、業務の履行上必要な事項について書面により示し、実施させることをいう。
- 8 「承諾」とは、契約図書で明示した事項について、委託者若しくは監督職員又は受託者が書面により同意することをいう。
- 9 「協議」とは、書面により契約図書の協議事項について、委託者と受託者が対等の立場で合議し、結論を得ることをいう。
- 10 「提出」とは、受託者が監督職員に対し、業務にかかわる書面又はその他の資料を説明し、差し出すことをいう。
- 11 「報告」とは、受託者が監督職員に対し、業務の履行状況又は結果について、書面により知らせることをいう。
- 12 「提示」とは、監督職員が受託者に対し又は受託者が監督職員又は検査員に対し、業務にかかわる書面又はその他の資料を示し、説明することをいう。

- 13 「通知」とは、委託者又は監督職員と受託者又は業務処理責任者の間で、監督職員が受託者に対し又は受託者が監督職員に対し、業務の履行に関する事項について書面により互いに知らせることをいう。
- 14 「書面」とは、手書き、印刷等の伝達物をいい、発行年月日を記載し、署名又は押印したものを有効とする。緊急を要する場合は、ファクシミリ及び電子媒体等により伝達できるものとするが、後日有効な書面と差し換えるものとする。
- 15 「確認」とは、監督職員が契約図書に示された事項について、臨場若しくは関係資料により確認し、その内容について契約図書との整合を確かめることをいう。
- 16 「立会い」とは、契約図書に示された項目について、監督職員が臨場により、その内容について契約図書との整合を確かめることをいう。
- 17 「完了」とは、業務等の全てが終わることをいう。
- 18 「修了」とは、指示した履行期間内において、所定の業務を終えることをいう。
- 19 「検査」とは、受託者が契約内容に適合した履行をなしたかどうかを、修了又は完了時に検査員が確認することをいう。
- 20 「検査員」とは、契約書、標準仕様書、特記仕様書、その他の関係書類等に基づき、当該業務の履行内容について検査を行うために委託者が定めた者をいう。

1－3 目 的

本業務委託は、業種の異なる道路の維持管理を総合的に実施し、効率的、計画的な維持補修作業の確保を目的として実施するものとする。また、委託地区内の道路施設等の巡回業務を行い市民の安全を確保するとともに、的確で迅速な行政サービスの提供を行うものとする。

1－4 業務計画書

本業務委託においては、次の事項について記載しなければならない。

- (1)業務概要
- (2)計画業務工程表
- (3)業務体制組織図（履行体系図を含む）
- (4)主要機械
- (5)主要資材
- (6)作業実施方法
各業務の主要作業について具体的に作業時期、順序、方法、使用機械等を記載するものとする。また、他作業との連携等について記載するものとする。
- (7)業務管理計画（監督職員の立会、段階検査内容及び時期等を含む）
- (8)緊急時の体制及び対応
- (9)安全管理（危険予知(KY)活動、安全訓練等の実施計画を含む）
- (10)交通管理
- (11)保安設置計画（交通誘導員の配置）

- (12)環境対策
- (13)社内検査
- (14)その他

1－5 業種及び作業種目

- 1 本業務委託における業務の種類は道路巡回、舗装、土木、道路路面清掃とする。

1－6 業務における主任(監理)技術者及び現場代理人

- 1 受託者は、主任(監理)技術者を定めると同時に現場代理人を定め、委託者に通知しなければならない。なお、重複は可能とする。
- 2 主任(監理)技術者は、当該業務を履行する責任者であり、監督職員からの指示を受けて実施計画を練り、委託者に実施報告を行わなければならない。
- 3 現場代理人は、作業実施に当たっての責任を負い、現場に常駐しなければならない。

1－7 業務の指示

業務の実施は、原則として委託者が行い、監督職員より指示するものとする。指示の種類は、緊急対応（概ね1時間以内）、準緊急対応（概ね1日以内）、通常作業（2～3日以内）、計画的作業（協議）とし、書面等により指示を行うものとする。ただし、受託者の巡回により発見した破損で、緊急な場合及び軽微な破損の補修については、逐次、受託者の判断により補修作業を行うことができる。

また、作業前には危険予知活動を行い、全員が作業の安全に務める。

1－8 緊急指示と連絡体制

- 1 緊急時には、休日、夜間等にかかわらず応急処置を指示することから、受託者は連絡体制を確立しなければならない。緊急指示を受け作業を実施した場合は、速やかに緊急時対応状況を（任意様式により）、報告しなければならない。
- 2 受託者は、次の業務を実施したときは、翌日又は直後の開庁日までに日報又は監督職員が指示する資料等を作成し、提出しなければならない。
 - (1)緊急処理対応業務
 - (2)監督職員が提出を求めた業務

1－9 報告書等の提出

受託者は、全ての業務の報告書等を取りまとめ、提出しなければならない。

1－10 官公庁、地先等との調整

- 1 受託者は、業務の履行に当たり、官公庁、地先等に対して次表の調整を行わなければならない。

1	地下埋設位置及び支障物件の調査確認
2	突出物件の確認
3	植樹樹の確認
4	境界杭の確認
5	出入口すりつけ
6	その他必要な事項

- 2 境界杭は業務着手時，完了時の写真を対比して確認できるように写真帳に添付しなければならない。

道路維持 詳細

2 使用材料

2-1 土木工事材料

本業務については、「宮城県土木工事共通仕様書 第2編 第2章土木工事材料」を参照する。
なお、受託者は施工する前に使用材料について監督職員と協議をし、適切な材料で施工するものとする。

- (1) 骨材
- (2) 鋼材
- (3) セメントコンクリート製品
- (4) 瀝青材料
- (5) 区画線
- (6) その他本業務で必要な材料等

3 道路巡回業務

3-1 巡回

1 道路巡回

本業務は、委託地区内の道路施設等の巡回業務を行い市民の安全を確保するとともに、的確で迅速な行政サービスの提供を行うものである。

(1) 巡回区分

ア. 1級巡回

幹線道路の巡回であり、交通量が多く小規模な道路異常にも著しく影響を受けるため、巡回の強化を図り、適切な路面や道路施設の状況を確保するものとする。

イ. 2級巡回

準幹線道路の巡回であり、交通量が比較的多く小規模な道路異常にも影響を受けるため、巡回の強化を図り、適切な路面や道路施設の状況を確保するものとする。

ウ. 3級巡回

生活道路の巡回であり、交通量はそれほど多くはないが、道路異常を発見するために巡回を行い、適切な路面や道路施設の状況を確保するものとする。

エ. 徒歩巡回

車内から路面や道路施設の状況が確認できない箇所について、徒歩により確認するものとする。また、市街化区域内の水路の巡回を行い、適切な状況を確保するものとする。

(2) 巡回基準は、次のとおりとする。

ア. 市内を4分割し、東部1地区、2地区、西部1地区、2地区のエリアを週1回で行う

ものとする。

- イ. 通常の巡回は、別紙の巡回路線図（１級巡回）によるものだが、必要に応じて２級巡回、３級巡回、徒歩巡回を行うものとする。（維持補修後の確認等）

（３）巡回方法

- ア. １級は往復巡回とし、２級及び３級、徒歩巡回は片道巡回とする。
- イ. 巡回に使用する車両は、黄色の灯火を装備した車両としなければならない。
- ウ. 巡回後は巡回日誌及び車両運転日報により巡回結果の整理（作業状況の写真、位置図等）を行い、巡回速報を毎週月曜日に（休日の場合は翌日）監督職員に提出しなければならない。また、破損箇所等異常箇所を発見した場合は、カメラで撮影を行い写真による報告を行わなければならない。
- エ. すべての巡回は、運転手を含め２名以上体制で行わなければならない。また、道路維持補修に精通し専門的な知識を有する者が、巡回しなければならない。
- オ. 巡回中、次の事項における異常を発見した場合は、速やかに監督職員に報告し、指示を受けてその処理に当たらなければならない。ただし、通行上危険な状況にあり緊急を要するものは臨機に安全対策を行い、状況に応じて警察・消防など関係機関への連絡を行うものとする。また、軽微なものはその都度処理するものとする。

（ア）道路施設物の破損等、緊急を要するもの

（イ）降雨等による道路の冠水

（ウ）強風等による倒木・枝折れ等による散乱

（エ）通行に支障となる故障車・放置車両

（オ）水路など公共用水域への油等流出及び路面への飛散

（カ）道路占用物件の異常

（キ）水路の法面崩壊等

（ク）不法投棄物、ポイ捨てごみ、動物の死骸などの障害物

（ケ）その他、道路・水路の環境を阻害する場合

- カ. 巡回中、パトロール車を停車する場合は、後続車両等の安全対策を講じ、事故防止に努めなければならない。

（４）巡回時における主な点検項目は、次のとおりとする。

ア. 車道

路面の破損（ひびわれ、段差等）、汚れ等

砂利道における不陸整正の必要性及び補足砂利の必要の有無

建築工事に伴う道路損傷行為、汚損等

イ. 縁石

縁石の破損等

ウ. 歩道

路面の破損（ひびわれ、段差等）、汚れ等

エ. 排水施設

排水施設の破損、スクリーン施設（市指定箇所）

オ. 安全施設

柵類，標識類の破損，カーブミラーの向き確認等

カ. 街路樹

倒木，枝折れ，危険枝等の状況

キ. 区画線

塗装状況

ク. 街路灯

点灯，折れ・曲がり等の状況

ケ. 橋梁

高欄の破損，伸縮装置の異常等

コ. 道路本体

不等沈下，陥没，路側路肩崩壊等，草刈時期

サ. 水路

水路施設の破損状況，流水障害物の有無，土砂の堆積状況等

3-2 緊急処理対応

1 道路巡回（緊急時巡回）

本業務は，異常気象時等（風水害等）における緊急的な巡回であり，監督職員の指示によるものとする。

また，指定された箇所については，パトロール時に状況を把握して安全対策を講じなければならない。

（1）パトロールの実施基準は，次のとおりとする。

ア. 降雨…大雨警報，土砂災害警報，長雨警報発令時又はそれらの警報発令が予想されるとき

イ. 風害…暴風警報発令時又は警報発令が予想されるとき

ウ. 地震…震度5以上

エ. 除融雪期（大雪警報発令時など、必要と認めたとき）

オ. その他必要と認めたとき

（2）パトロールの判断基準は，次のとおりとする。

ア. 降雨・地震

（ア）落石の発生状況…小規模な落石，法面で止まった状況の落石

（イ）法面の状況…地山の動き，草木の動き

（ウ）湧水状況…新たな湧水が発生，平常時の湧水が止まっている

（エ）橋梁の状況…落橋，駆体のクラック，支承部のずれ，吊り橋

イ. がけ崩れ・地すべりの兆候

（ア）小石がパラパラと落ちる

（イ）がけに裂け目ができる

（ウ）地面がひび割れ，陥没や隆起が生じる

ウ．土石流の兆候

(ア)降雨が続いているのに川の水位が下がっている

(イ)きな臭いにおいや立木が割れる音をする

(ウ)川の水が急に濁り流木が混ざる

エ．強風

(ア)倒木・枝折れ…通行等の障害

オ．その他…ごみ・破損

(3)危険と判断した場合は、次のとおり対応するものとする

ア．道路の通行止め

関係機関への周知（土木管理課、警察署、公共交通機関、地元町内会等）

イ．応急措置

バリケード等の設置、大型土のう設置、排水路の確保

ウ．住民対策

土地所有者や周辺住民の心情・当惑を十分に理解して、懇切・丁寧に対応する。

2 その他監督職員の指示により、緊急的に巡回を行うものとする。

3-3 舗装補修

- 1 巡回により舗装破損危険箇所を発見した場合又は監督職員から緊急指示を受けた場合は、速やかに常温合材により補修作業を行うものとする。なお、常温合材等により危険が解消されない場合は、補修が完了するまで現場を離れることなく、交通誘導等の安全対策を行わなければならない。
- 2 アスファルト合材の管理は使用重量とする。
- 3 ポットホールの補修は、破損遊離及び不安定な箇所を取り除いた後、常温合材にて敷き均すものとする。
- 4 くぼみ及び段差の補修は、土砂等を取り除いた後、常温合材にて敷き均すものとする。また、凍上による段差の補修については、解凍により段差がなくなることから、応急的な対応として常温合材を使用してもよい。なお、状況に応じて舗装を削るものとする。
- 5 太い線条のひび割れが生じた場合は、中にある土砂等を圧縮空気で吹き飛ばすなどの方法により排除し、周囲の動く部分を取り除いて、アスファルトを充填するものとする。
- 6 各補修で常温合材敷き均し後、タンパーにて十分締め固め、在来路面とほぼ平らになるように仕上げて、交通解放するものとする。
- 7 部分的な補修は舗設が剥がれやすいので、補修箇所の大きさや深さにより工法を適正に選択し補修しなければならない。

- 8 補修基準は次表のとおりとする。

項目	補修基準
ひびわれ（亀甲状ひびわれ・線状クラック）	監督職員との協議による。
段差（舗装面の凸凹等）	発見後速やかに補修する。
崩壊（ポットホール・はく離）	発見後速やかに補修する。
変形（流動・くぼみ）	監督職員との協議による。
水たまり	監督職員との協議による。

- 9 品質管理

補修で使用する材料の品質を証明する資料を整備保管しなければならない。

3－4 災害時緊急作業

- 1 災害時緊急対策（対応・復旧）

- （1）災害時に、「3－2 緊急処理対応」に規定する道路巡回を行うものとする。
 - （2）災害時に発生した舗装の破損・欠損箇所について、監督職員と協議の上、補修するものとする。
- 2 災害時においては、巡回、補修等について監督職員との連絡を密に取り、指示・連絡システムの確立を図らなければならない。

4 応急処理作業業務

4－1 一般事項

- 1 本節は、応急処理作業業務として応急処理作業その他これらに類する工種について定める。
- 2 受託者は、応急処理工の施工については、施工箇所以外の部分に損傷を与えないように行わなければならない。
- 3 応急処理工の施工による発生材の処理は、「宮城県土木工事共通仕様書 第3編 2－9－15 運搬処理工」の規定による。

4－2 応急処理作業工

- 1 応急処理作業工の時期、箇所、作業内容は、設計図書及び監督職員の指示によるものとし、完了後は速やかに監督職員に報告しなければならない。なお、週報として速報を毎週月曜日（休日の場合は翌日）に提出しなければならない。
- 2 応急作業
 - （1）応急作業
 - ア 応急作業は、道路陥没・路肩欠損等に対する応急処理、オイル流出にかかわる油回収作業、交通事故後の散乱処理、不法投棄物の回収など、不測の事態に対して応急的措置を施すものである。

イ 巡回で異常事態を確認した場合は、直ちに危険回避の措置を施し、監督職員に報告を行い、その後の処置について指示を受けて処理に当たらなければならない。

ウ 異常事態が生じたとき、原因者がいる場合はその者が負担して現状復旧されるべきものであることから、初期対応は他に被害を拡大しない範囲で最小限にとどめ、監督職員に報告し次の指示を受けなければならない。

エ オイル流出事故対応では、オイルフェンス等回収資材を常備し、緊急出動できる体制を整えなければならない。作業により発生したオイル吸着物は産業廃棄物であり、原因者が特定できない場合の排出事業者は塩竈市となるため、当該産業廃棄物の収集運搬の許可を得ている受託者が、特記仕様書に定める処分施設に運搬するものとする。

オ 道路上に不法投棄物、ポイ捨てごみ、動物の死骸などの障害物があつたとき又は担当職員からそれら障害物の撤去を指示されたときは、速やかにそれらの除去、清掃及び運搬を行わなければならない。

不法投棄物は、原因者が特定できない場合、塩竈市が排出事業者となる。

がれき類、汚泥などの不法投棄物は産業廃棄物となるため、当該産業廃棄物の収集運搬の許可を得ている構成員が、特記仕様書に定める処分施設に運搬するものとする。ただし、不法投棄物のうち家電は廃棄物ではないため、許可のない構成員も運搬できる。

一般的な不燃ごみ及びポイ捨てごみ程度の不法投棄物又は動物の死骸は一般廃棄物とするが、許可のない構成員も特記仕様書に定める処分施設に運搬することができる。悪質な不法投棄又は伝染病のおそれがある動物の死骸等の場合は、直ちに関係機関及び監督職員に連絡し、指示を受けなければならない。

カ 作業終了後は関係書類を速やかに監督職員へ提出しなければならない。また、緊急事態状況及びその処理状況について、必要な写真を関係書類に添付して提出しなければならない。

(2) 異常気象対応

ア 異常気象時は、監督職員の指示に従い危険ポイントを中心に巡回を行い、異常箇所の早期発見に努めなければならない。

3 夜間・休日作業

(1) 夜間又は休日に、道路施設等に異常があつたとき又は監督職員の指示があつたときは、速やかに処置しなければならない。

(2) 夜間又は休日に、道路上に不法投棄物、ポイ捨てごみなどの障害物があつたとき又は監督職員からそれら障害物の撤去を指示されたときは、「2 応急作業 オ」のとおりとする。

4 運搬処理

(1) 監督職員から他の業務委託で発生した産業廃棄物の収集運搬を指示されたときは、当該業務委託の業務処理責任者と打合せを行い、速やかに回収しなければならない。

(2) 回収した産業廃棄物の排出事業者は塩竈市となるため、当該産業廃棄物の収集運搬の

許可を得ている受託者が、特記仕様書に定める処分施設に運搬するものとする。特記仕様書に定める処分施設以外の場合は事前に協議するものとする。

5 業務管理

5-1 管理項目及び方法

1 履行期間の管理

受託者は、履行期間の管理を業務内容に応じ業務工程表により行うものとする。ただし、応急作業等の当初計画が困難な業務内容については、省略できるものとする。

2 出来形管理

(1) 受託者は、監督職員が指示した場合は、出来形を基準値と実測値を対比して、記録した出来形表を作成し管理するものとする。

(2) 出来形の様式については、別に定められた様式のほか、監督職員の承諾を得て受託者独自に作成した様式で提出することができるものとする。

3 品質管理

(1) 受託者は、監督職員が指示した場合は、監督職員の指示する試験項目、試験方法及び試験基準により品質を管理し、品質管理表を作成するものとする。

(2) 品質管理の様式については、別に定められた様式のほか、監督職員の承諾を得て受託者独自に作成した様式で提出することができるものとする。

5-2 写真管理

1 写真管理の基本

(1) 受託者は、業務写真を業務管理の手段として、各業務の作業状況、出来形寸法等を撮影し、適切な管理のもとに保管するものとする。また、監督職員の請求に対し直ちに提示するとともに、検査時に提出しなければならない。

(2) 写真の撮影に当たり、日付、業務名、作業内容、路線名(所在地)、略図等を記載した小黒板並びに必要な応じてポール及びリボンテープ等の測定器具を写し込むものとする。

(3) 各作業に係る作業員および交通誘導警備員等で作業に従事する者を写し込むものとする。(各作業の人日の確認のため)

(4) 撮影機材は、有効画素数約100万画素数以上とする。

2 本業務委託の写真管理は次表を標準とする。

業 種	区 分	撮影項目	撮影頻度	提出頻度	摘 要
道路巡回	適時	作業箇所	必要に応じて	毎月	実施時
緊急時巡回			出動ごと	出動ごとに報告	
舗装補修	作業前・中・後		1 作業日 1 箇所以上	毎月	
路面清掃		作業路線	1 作業 1 路線以上		
排水施設等清掃					
排水施設等補修	作業前・中・後	作業箇所	1 箇所 1 組		
道路付属施設等 補修	作業前・中(必要 に応じ)・後		全箇所		
防護柵等補修			出動ごと		
応急・緊急作業			1 路線 1 組程度		
区画線補修	作業前・中・後				
災害時緊急対策	被災状況	被災箇所	1 箇所 2 組以上	随時	指示したもの を提出
	作業前・中・後	作業箇所	指示による		
全業種	安全管理	安全施設	設置後 1 回	毎月	代表的なもの を提出
		交通整理	1 業種 1 箇所		
		安全訓練	実施ごと		

3 業務写真帳

業務の完(修)了時に提出する業務写真帳は、前項に基づく写真とし提出しなければならない。